

返って来たホタル

ホタルの里 吹田

ホタルには子どもの頃の
の思い出と老い行く我が
身の今を思う。

戦後、食糧増産と経済
成長の中で、ホタルの生
息が減少して行つた。し
かし、環境保全、環境美
化が叫ばれ、行政、地域
住民が真剣にそれに取り
組んだ結果、その成果が
現れて、ホタルが年々増

加し、今では、吹田全域
で乱舞しています。

昨年来、行政企画のミ
ニ特区事業として、当吹
田区においては、上井手
沿いに「ホタルまつり」
を実施しております。

案内板の作成、設置、
トイレ、駐車場用地の提
供や防護柵、キャンドル
サービス等、区民の手造

りで実施しました。

大津町内の方はもちろ
ん熊本市内等の町外から
もたくさんホタル観賞に
来ていただき、親睦が深
まり、地域が発展して行
くことのすばらしさを実
感しております。

吹田区長 佐藤堅一



暑中お見舞い申し上げます
大津町議会



ほたるまつり

いろはにほへと 13

われ鍋にとじ蓋

鍋というものは町人の食生活の中心だった。
農民はかまどと釜によって食生活をいとなんで
いた。小家族の都市居住者がふえるに従って、
手軽につかえる鍋が流行した。

鉄鍋をつかう家は経済的にも中以上で、安定
した生活をしていた。貧乏人は土鍋だった。そ
ういう意味では鋳物の鍋にひびがはいったのと
割れた蓋を閉じ合わせたものは、古くて都市的
貫禄をそなえた似合いのものということになる。
この文句、ろくでもない夫婦をいうのではなく
て、本来は、似合いで目出たいという意味なの
である。

編集後記

梅雨入りした後、雨ら
しい雨がなく、空梅雨で
水不足が心配されました
が、梅雨末期になり、何
日か雨が降り、ホッと
したところです。自然のこ
わさともにも有りがたさ
も感じさせられました。

新委員としての
二回めの議会、だよ
り発行です。5月
には、長崎県、佐
賀県へ広報の研修

へ行き、成果は大きかつ
たと思っております。読
者の皆様へ議会の状況を
わかり易く、そして、皆
様が読みたいと思ってい
ただけのような「議会だ
より」づくりへ努力して
いきます。

(吉田)

議会広報編集 特別委員会

委員長 俊彦
荒木 道
副委員長 忠道
吉田 光
委員 本 典
坂 開 明
新 則
鈴 木 ヨ



広報研修

この議会だよりはリサイクル推進のため
古紙一〇〇%の再生紙を利用しています。